

## 深い歴史にふれ 河原田家 オープニングセレモニー



河原田家の深い歴史にふれて、非日常を味わってみてはいかがでしょうか。

角館町の東勝楽丁にある武家屋敷河原田家。平成29年度から実施されていた修理工事が終了し、4月10日にオープニングセレモニーが行われ、来賓や関係者およそ30人が出席しました。肌寒い中行われたセレモニーでは、河原田家第19代当主の河原田次朗さん、門脇光浩市長、秋田県教育庁生涯学習課の武藤祐浩文化財保護室長、黒沢龍二議長、須田喬教育長がテープカットを行い、一般公開を祝いました。

門脇市長は「歴史を知ることが明日を知ることにつながる。重要伝統的建造物群への理解を深める新たな拠点となる」と式辞を述べました。

セレモニー終了後、一般公開が始まりました。来館者は、江戸時代の建築様式

を踏襲した主屋や、米蔵に収められた河原田家ゆかりの品々に見入っている様子でした。河原田さんは「修理により、戦後に増築した部分を解体し、本来の姿になった。庭のコケと併せて、ユリノキの大木も、座敷や縁側に座って眺めてほしい」と話されました。

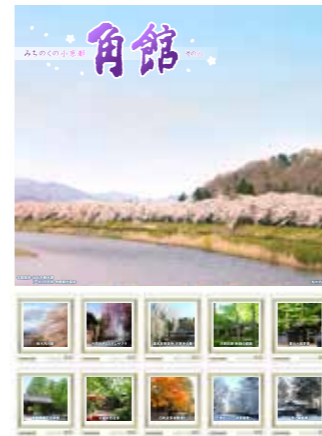
### 切手を通して角館の桜を発信

## オリジナルフレーム切手を寄贈

このたび、日本郵便株式会社東北支社が「みちのくの小京都 角館 その八」と題したオリジナルフレーム切手の販売を4月9日より開始しました。これを記念し、同日、同社より仙北市に寄贈いただきました。

販売されるのは、角館の桜を中心に武家屋敷通りの風景がデザインされたフレーム切手800シート（1シート63円切手×10枚1300円）。仙北市、横手市、大仙市、美郷町の郵便局など計72局で購入できます。

佐々木則和十文字郵便局長は「これまで、武家屋敷や松木内川堤の桜の写真が中心だったが、昨年角館町割400年の節目を迎えたということもあり、今回は外町の風景も入れた。フレーム切手を通して県内外に角館の桜を発信し、仙北市の観光を後押しできれば」と話しました。



桜のほか、武家屋敷の四季を味わうことができます。

### 医療現場に役立てて

## 角館ライオンズクラブが寄贈

4月8日、角館ライオンズクラブから西明寺診療所へ昇降補助手すりを寄贈いただきました。

同クラブは地域の清掃や寄付などの奉仕活動（アクティビティ）を毎年行っており、今年はずでに、仙北市総合情報センターと角館榊細工伝承館前の広場周辺の清掃活動を行っています。また、コロナ禍で医療が大変な時期に何か役立てればとの思いで今回の寄贈に至ったとのこと。

この寄贈品は体重や身長をはかる際に使用するもの。西明寺診療所の市川晋一所長は「患者さんのほとんどが高齢者。体重計に乗るときにふらつとしてしまうので、手すりは本当に助かります。しっかりと移動しやすい」と話していました。



ライオンズクラブは地域貢献のため様々な奉仕活動を行っています。



体重計などに乗るときはこれで安心です。

### 愛される待合所へ

## 大仙仙北塗装業組合が

## 地域貢献活動

4月15日、大仙仙北塗装業組合（戸嶋克組合長）が角館駅前のタクシー乗り場と駐輪施設横のバス乗り場の塗装を行いました。

仙北市と大仙市、美郷町の塗装業者で構成する同組合は、毎年、自らの技術を地域のために役立てようと管内の公共施設を

ボランティアで塗装しています。

今回参加した組合員30人はそれぞれの担当場所に分かれ、待合所の外観やイスなど色あせをしている箇所に防虫防腐塗料を塗り直すなど、これからも長く使用できる工夫を凝らしました。戸嶋組合長は「この地域貢献活動はおよそ40年前から続けている。観光地として有名な角館の待合所をきれいにすることで、少しでも地元の方や観光客に喜んでもらえるとうれしい」と話しました。



利用者に気持ちよく利用していただくため屋根や柱、イスなどを塗装しました。



### 市長の まちづくり No.179 日記

## 『見切り発車のワクチン接種』

仙北市長 門脇 光浩

全国の自治体が、新型コロナウイルスワクチンの接種に取り組んでいます。しかし必要量を確保できないまま、見切り発車で接種事業をスタートさせているのが実情です。仙北市は感染時により重症化しやすい高齢者、特に年齢の高い75歳以上の皆さまを優先し、今月9日から接種を始めます。

市新型コロナウイルスワクチン接種推進室では、先月12日に接種券・お届け案内・シャトルバス（ワクチン接種時、各会場への移動でご利用いただくシャトルバス）の運行表などを同封し、75歳以上の皆さま6000人に一斉に郵送作業を行いました。しかし現在、市が供給を受けているワクチン量は975人（×2回）分で、全く量が足りていません。対象の皆さまには、市コールセンターにご連絡をいただきながら9日の接種が叶わなかった方が多数です。何度もコールセンターに電話をかけたけれど通じなかった、また接種券が届いた時には、すでに受け付けが終わっていたなど、市民の皆さまから苦情を伺っています。大変に申し訳なく思います。同じく市コールセンター職員も、市民の皆さまの

要望に応えられなかったこと、本当に悔しい思いで受け止めています。その思いが受話器からも伝わってきたとお話をされた方もいました。できる限りの改善作業を進めたいと思います。

さて、新型コロナウイルス感染症対策で春の花紀行も昨年に続き中止や規模縮小が続いています。先月12日に県の感染警戒レベルが2から3に引き上げとなり、各感染対策はさらに厳しく、また都道府県をまたぐ不急不急の移動の自粛などを求める内容です。これを受け、角館の桜まつりはライトアップや歩行者天国を中止し、食堂やレストランの密集を改善する目的だった河川敷での飲食も禁止しました。楽しみにしていた皆さまも多いと思います。実行委員会にとっても残念な判断でした。

桜まつりに限らず、今後もそれぞれの事業の開催・中止の判断については、感染状況を科学的に見極め、可能な限り取り組みを諦めない姿勢で臨みます。

国は三度目の緊急事態宣言で連休中の感染封じ込めに向かいました。市民の皆さまには、改めて感染対策の徹底と、誹謗中傷に荷担をしない、ウワサに惑わされないようお願いいたします。